

藤枝の向島さん受賞

やりたいことが実績に

新しい経営理念で地域社会に貢献する若手農業者をたたえる「第85回中日農業賞」（中日新聞社主催）で、茶の栽培から販売まで手がける藤枝市の向島和詞さん（40）が最高の農林水産大臣賞に輝いた。4日に名古屋市中で開かれた贈呈式で、「農業経営で働いて働いて経済を回していきたい。世のため人のため、社会的な意義のある農業生産法人をまい進していく」と力強く語った。

高校生の時に父和光さんが急逝し、経営を引き継いだ。父が大切にしてきた有機栽培技術を自ら学

び、経営の立て直しに全力投球。2017年には地域の要望を受けて工場を整備し、抹茶の原料となる碾茶製造に乗り出した。有機栽培技術の指導、地域の茶園継承などにも取り組んできた。

茶を生き物と捉え、命を持つ茶に敬意を払う。その上で、夏場に刈り落としていた茶葉を「青番茶」として加工して扱うなど、さまざまな局面でチャレンジ精神も発揮する。

事業は「自分がおもしろいと思えるか」「誰かの役に立つか」という視点で展開してきた。新たに設立した販売会社では、ひきこもりの若者らが働ける場の提供を目指す。

「売れるためではなく、やりたいことが実績となった。自分の生き方自体が、何も飾らずに人の役に立てることは幸せなこと」と受賞の喜びを口にした。

（山崎優日）



農水大臣賞を受賞した向島さん（右）
と同行者の松岡大輝さん（左）名古屋
市中区のKKRホテル名古屋で